

# 議会だより

祝 令和6年 一宮町成人式



【関連記事 P16】

撮影：Sea Side Page

## 主な内容

- 令和4年度決算を認定……………(2)～(4)
- 補正予算の概要……………(5)
- 議案審議賛否一覧……………(6)
- 一般質問……………(7)～(14)

20歳の祝典  
おめでとう！

第190号  
2024.2

町のホームページで議会だより  
や議会の録画中継、会議録等  
見ることができます。

<https://www.town.ichinomiya.aichi.jp>







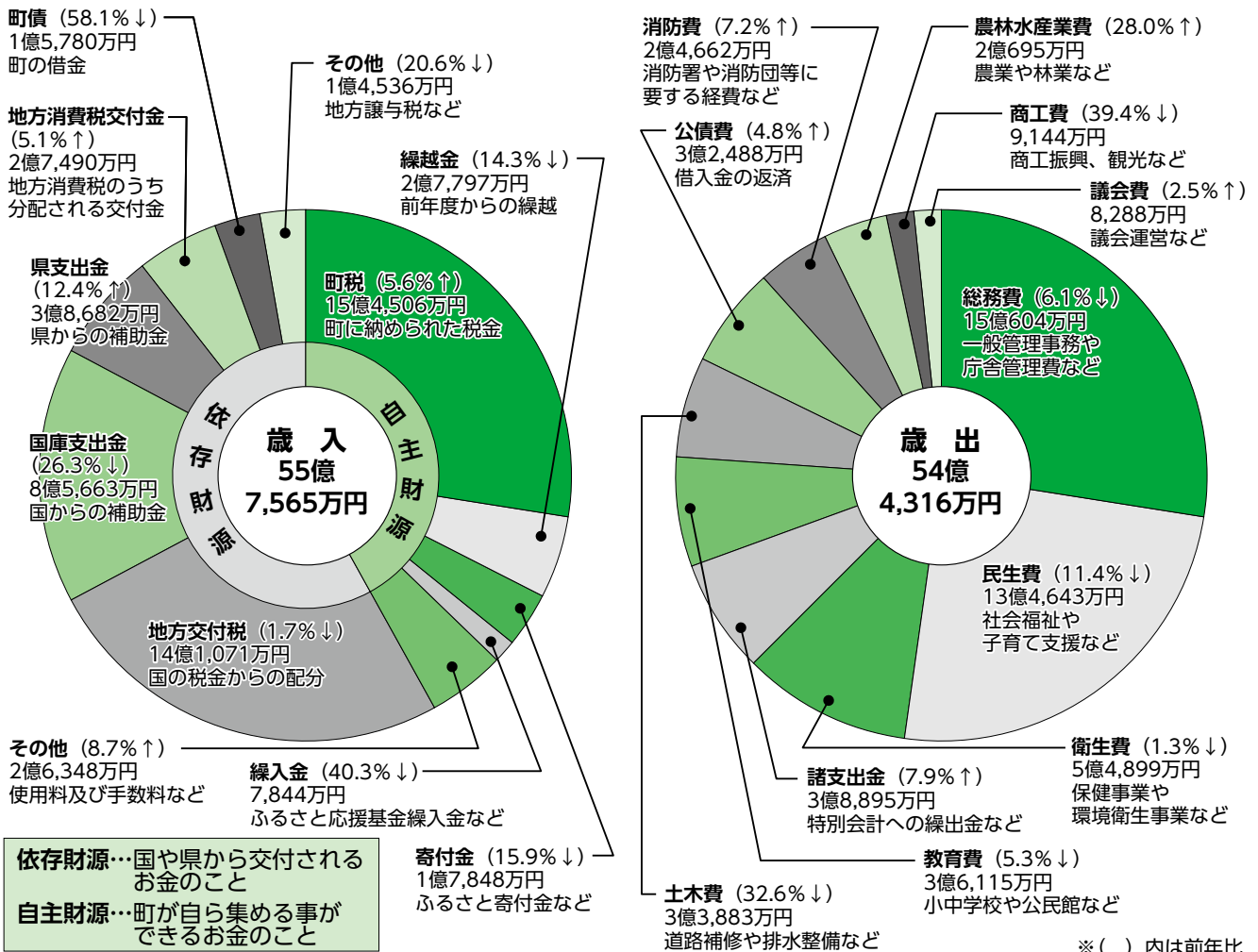
決算審査の現場踏査「ステラ釣ヶ崎に農産物販売機を設置」

令和5年第4回一宮町定例議会は、12月12日に開催されました。町長の行政報告をはじめ、閉会中の継続審査となっていた令和4年度各会計の決算審査の報告や8名の議員による一般質問が行われました。

また、議案は条例の制定1件のほか、条例の一部改正1件、補正予算3件など14件があり、原案どおり可決しました。

## 令和4年度決算を認定

令和4年度一般会計、他4特別会計の歳入歳出決算について、決算審査特別委員会で審査を行いました。その後、本会議で委員長報告ののち討論・採決の上、各会計とも認定されました。



### ■特別会計の状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引
国民健康保険事業特別会計	15億4,054万円	14億3,604万円	1億450万円
介護保険特別会計	10億7,717万円	10億4,279万円	3,438万円
後期高齢者医療特別会計	1億8,583万円	1億8,526万円	57万円
農業集落排水事業特別会計	9,235万円	7,756万円	1,479万円

# 決算審査特別委員会 報告

9月定例会において付託された決算審査特別委員会を11月7日・8日に開催し、令和4年度決算について審査を行いました。

2日にわたり、町が目的に沿って予算を適切に執行したかを審査し、その結果、全会一致で認定いたしました。

## 【特別委員会委員】

委員長	小安 博之
副委員長	藤井 幸恵
委員	小関 義明
委員	大橋 照雄
委員	宇佐美 信幸
委員	篠瀬 寛樹

## 質疑・回答

委員会での質疑・回答の一部をお伝えします。

### 一般会計

**問** マイナンバーカードの普及率と交付上の問題点は

**答** 7月末時点で交付枚数8737枚、交付率は71%である。問題点としては、マイナンバーカードに疑念を持った方が返納する事案が発生したことがある。

**問** 海岸有料駐車場の今後の計画は

**答** 更に舗装を行い、環境整備を実施し利用促進を図っていく。

**問** 自主財源と依存財源の状況は

**答** 自主財源は、約23億4341万円(42%)で前年度比3ポイント増。依存財源は約32億3222万円(58%)で前年度比3ポイント減となっている。

**問** 放課後児童健全育成事業について、待機児童など町の状況は

**答** 令和4年度までは利用希望者全てを受け入れることができた。しかし、令和5年度は待機児童がいる状態である。また、支援員の確保が困難な状況である。

**問** 学校でのタブレット端末の活用状況は

**答** 通常の授業の中で普段使いという感覚で利用し、低学年から高学年まで問題なく使いこなしている。



現場踏査「一宮中学校 屋上防水工事」

### 国民健康保険事業特別会計

**問** 少子高齢化の中で、団塊の世代が後期高齢者に移行了した場合の国保の運用上の問題点は

**答** 既に後期高齢者が増えてきており、国保被保険者数は減少している。予算的な問題も考えられ、慎重に税率等を判断していく。

### 農業集落排水事業特別会計

**問** 非対面収納システムとは

**答** 水道料金と徴収を一本化し、銀行やコンビニエンスストア等、支払える窓口の拡充を図るものである。



現場踏査「釣ヶ崎海岸に宅コミュニティ設置」

## 委員会からの要望事項

現在、学童保育は定員に達している状況で、職員数の確保も難しいことからこれ以上の受け入れは出来ないとの話である。それらの改善について検討・努力されることを要望する。

# 決算認定について討論

## 《一般会計》

**反対** 町民のための事業を

舛場博敏議員

町民の暮らしの疲弊に対して、少しでも町は助ける、そういった取組みが求められている。しかし、事業は継続事業が中心であり、基金残高を4億4500万円増やして31億4390万円とした。学校給食施設の改善等、他に支出すべきものがあると考え、反対する。

**賛成** 町民生活を支える事業展開である

宇佐美信幸議員

歳入では町税の徴収率が向上しており、財政調整基金も取り崩すことなく、財源確保の努力が表れている。歳出では物価高騰に対する経済支援や中央ポンプ場の改修など、町民生活の安心安全を守る各種事業が展開されている。よって評価に値するものと判断する。

## 《国民健康保険事業特別会計》

**反対** 法定外繰入により減税を

舛場博敏議員

本制度は構造的な問題を抱えた制度であると同時に、町民の命・健康・暮らしに直接影響を与える制度でもある。国への国庫負担増額の要望、更に地方消費税交付金を財源とした一般会計からの法定外繰入を行い、減税措置の実施を求める。

**賛成** 健全な運営に向けた取組みを実施

藤井幸恵議員

町では、個別相談による収納率向上や特定健診、人間ドックなどの健康管理・意識向上の取組みを実施し、医療費の削減に努めている。また、実質単年度収支は黒字となり、税率の引き下げも実施しており、適正かつ健全に運営されたと判断する。

## 《介護保険特別会計》

**反対** 更なる制度改善を

舛場博敏議員

老健施設等の食費や居住費に対する負担軽減制度の助成枠制限。一定の世帯所得で負担割合が1割から2割にされた問題。更に、施設入所の多床室の有料化の動きや特別養護老人ホームの待機者が依然として減っていない。以上の点から、改善を求めて反対する。

**賛成** ニーズにあった適切な支援を実施

篠瀬寛樹議員

要介護認定率、保険給付費ともに事業計画の推定値を下回っている。これは、けんこう運動教室や出張介護予防教室などの有効かつ実効的な事業の成果と言える。住み慣れた地域で安心して生活できるためのサポート体制に尽力しており、高く評価する。

## 《後期高齢者医療特別会計》

**反対** 高齢者が大切にされる制度を

舛場博敏議員

本制度は、県一本の広域連合で審議を行い、医療環境・経済環境も異なる中、保険料などが一律で決定されるという不合理さを持っている。本制度への国庫負担を抜本的に増額するか、差別や負担増を生まない制度に改善を求める。

**賛成** 健全かつ適正な決算

大橋照雄議員

運営は、県内全市町村で構成する広域連合が主体であり、県内地域差なく保険料の平準化がなされている。町が執行した予算については、法律に基づいた適切なものであり、これからも高齢者が安心して医療を受けられるよう配慮された健全かつ適正なものと判断する。

定例議会で決まったこと

迷惑防止条例を整備

議案第1号

町民や事業者、滞在者等が互いにマナーを遵守し、迷惑行為のない快適で良好な生活環境を実現することを目的に制定しました。

産前産後期間の国保税の軽減措置を追加

議案第2号

国民健康保険に加入している被保険者が出産する場合に、保険税の所得割額及び均等割額が軽減されます。

同意

同意案第1号

固定資産評価審査委員に次の方が同意されました。



勝又 泰雄さん(新浜)



令和5年度 補正予算の概要

12月定例会

一般会計補正予算（第4次）は、歳入歳出2億1,123万9千円を追加し、予算総額が54億4,793万9千円となりました。主な内容は下記のとおりです。

事業名	※1万円未満四捨五入	内 容
防犯灯整備事業	92万円	・耐用年数を迎つつある防犯灯修繕の経費。 
低所得世帯支援金給付事業	1億430万円	・低所得者に対して、物価高騰による経済対策の一環として、1世帯当たり7万円追加支給するための経費。
戸籍事務費	443万円	・戸籍法、住民基本台帳法改正で、戸籍及び戸籍附票の氏名にふり仮名の記載が法制化されたことに伴うシステム改修経費。
障害児支援事業	805万円	・コロナ緩和により放課後デイサービスや児童発達支援の利用者及び利用日数が増加したため追加するもの。
子ども・子育て支援対策事業	2,568万円	・東浪見子ども園・一宮どろんこ保育園等の入園者が増加したため追加するもの。
有害鳥獣対策事業	163万円	・有害鳥獣の捕獲頭数が増加したため追加するもの。
土木関係災害復旧事業	5,000万円	・台風13号（令和5年9月8日発生）に伴う大雨による土砂崩れ、路肩崩落の復旧工事に係る経費。 

動議

一宮町公共施設建設に関する調査研究特別委員会設置を求める

鶴沢一男議員

本特別委員会は、町の公共施設建設全般に対する調査研究を目的とする。第一に、一宮町中央公民館の建設を取り上げるものであり、これからの時代のニーズにあった公民館を建設することができるのか検証する必要があると考える。

最も重要なことは、大規模な公共施設の建設は、町民に税金として負担をいただくということである。よって、特別委員会を設置し、議論の場を設ける事を求める。



中央公民館

賛成 建設には住民の声を

小林正満議員

公民館を建設した時代は、現在のかたち、間取り、作り方で良かったと考えるが、これからの公民館は将来の子ども達・高齢者・障害者に優しい施設にするため、地域住民の声をしっかりと聞いて計画を持って建設すべきである。特別委員会は必要と考え賛成する。

賛成 調査研究し、より良い施設づくりを

畑場博敏議員

町民ニーズに合わせて施設づくりや補助金について、再度検討すべきである。そのため、互いに共通認識を深め、より良い施設づくりを目指し、議会も町と並行した調査検討を進めるべきである。また、議会には2つの常任委員会があるが、財政や教育施設の問題など、所管の委員会を跨ぐことから、特別委員会の設置が適当と考え賛成する。

## 第4回定例議会 議案審議結果一覧

【賛成：○ 反対：× 欠席：欠 退席：退】  
 ※議長は採決に加わりません。

議案番号	上程された議案・概要 (議案名は一部省略しています。)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
		議決結果	篠瀬寛樹	宇佐美信幸	藤井幸恵	川城茂樹	大橋照雄	小林正満	鶴沢一男	小安博之	袴田忍	吉野繁徳	森佐衛	畑場博敏	小関義明	鶴沢清永
承認第1号	令和5年度一般会計補正予算(第3次)の専決処分につき承認を求めると…歳入歳出それぞれを253万6千円追加し、予算総額を52億3,670万円とするもの。(台風13号による被災箇所への復旧事業費等)	承認賛(13) 否(0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第1号	令和4年度一般会計歳入歳出決算認定 【※詳細はP2へ】	認定賛(12) 否(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第2号	令和4年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定賛(12) 否(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第3号	令和4年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定賛(12) 否(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第4号	令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定賛(12) 否(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第5号	令和4年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	認定賛(13) 否(0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第1号	一宮町迷惑防止条例の制定 …町民や事業者、滞在者等が互いにマナーを遵守し、迷惑行為のない快適で良好な生活環境を実現することを目的に制定するもの。	可決賛(13) 否(0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第2号	一宮町国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定 …国民健康保険に加入している被保険者が出産する場合に、保険税の所得割額及び均等割額を軽減するため改正するもの。	可決賛(13) 否(0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第3号	一宮町公共下水道施設の建設工事委託に関する協定の一部変更 …千葉県下水道公社へ委託工事として実施している中央ポンプ場の大規模改修工事について、入札後の事業費に減額があったため、変更協定を締結するもの。	可決賛(13) 否(0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第4号	和解及び損害賠償の額を定めることについて …一宮海岸有料駐車場で発生した事故について、町の過失を認め、損害賠償金3万2,510円を支払うもの。	可決賛(13) 否(0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第5号	令和5年度一般会計補正予算(第4次) …歳入歳出それぞれ2億1,123万9千円を追加し、予算総額を54億4,793万9千円とするもの。【※詳細はP5へ】	可決賛(13) 否(0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第6号	令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2次) …歳入歳出それぞれ16万7千円を追加し、予算総額を14億7,844万2千円とするもの。(条例改正に伴うシステム改修経費等)	可決賛(13) 否(0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第7号	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2次) …歳入歳出それぞれ10万円を追加し、予算総額を1億9,296万2千円とするもの。(保険料還付金の増)	可決賛(13) 否(0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意案第1号	一宮町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めると…勝又泰雄氏の選任につき、議会の同意を求めもの。	同意賛(13) 否(0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
動議	一宮町公共施設建設に関する調査研究特別委員会設置の動議 …町の公共施設建設全般に対する調査研究を目的として特別委員会の設置を求めるもの。【※詳細はP5へ】	否決賛(6) 否(7)	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	-

# ここが聞きたい 町の考えを問う

## 8人の議員が一般質問

一般質問は、町政全般に関する疑問や町の考えを問うものです。

※掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。  
 詳細は、町のホームページから議会会議録（議会終了後約3ヶ月で掲載）  
 または録画中継をご覧ください。

### 篠瀬寛樹 議員

P8

- ① 保育園・保育所の園外活動（散歩・遠足等）について
- ② 海岸有料駐車場について

### 大橋照雄 議員

P9

- ① 一宮リアライズ問題の近況と確認
- ② 高齢者に尊厳ある町政を
- ③ 公共施設整備順位の再検討を

### 袴田 忍 議員

P10

- ① 町のコミュニティ・スクール導入について

### 川城茂樹 議員

P10

- ① 職員のフルネーム対策について

### 宇佐美信幸 議員

P11

- ① 国際交流について
- ② 役場下から海岸への花壇について

### 畑場博敏 議員

P12

- ① マイナ保険証移行問題について
- ② 東浪見小学校校舎裏の管理について
- ③ 中央公民館改修・改築問題について

### 藤井幸恵 議員

P13

- ① 町の子育て支援政策について
- ② 世界サーフィン保護区申請について

### 小関義明 議員

P14

- ① 带状疱疹ワクチン接種補助について
- ② 町長の政治姿勢について

※発言内容における年月日等は、本誌発行の時にあわせた表現に改めてあります。





# 保育施設の 園外活動ルートの確保を

## 答 情報共有し、協力していく

篠瀬 寛樹 議員



**問** 小中学校の通学路は、危険箇所の確認を行い、適宜是正して安全な通学路の確保に努めている。しかし、各保育施設の園外活動における散歩や遠足のルートは、各保育施設が危険箇所を避けてルートを決めている。そこで、小中学校の通学路と同様に、各保育施設のルートでも枝草刈や危険箇所の是正を町が行い、安全の確保に努めることは出来ないか。また、散歩や遠足を毎回同じルートではなく、活動の幅を広げ、楽しみを増やすためにも数多くのルートを確保できないか。

**子育て支援課長** 今後は各保育施設と情報を共有し、多くのルートで安全に実施できるような民地・民家での危険箇所も含めて関係機関と適切に対応していく。

## 海岸有料駐車場の 効率的な運用を

### 答 快適に楽しめるよう整備していく

**問** 海岸有料駐車場は、多くの町外の方が利用されている。この駐車場は立地も良くシャワー、トイレもあり利用客にとって、とても優良な駐車場である。

そこで以下の見解を伺う。  
① 町民利用（無料）促進と環境整備のために、駐車料金500円の見直しが必要ではないか。年間同一料金ではなく、シーズン中や土日祝日は千円に上げるなど、町にとって大切な収益物件として検証が必要だと

考える。

② 令和4年度は約1600万円の収益があり、本年もそれ以上の収益が見込まれる。駐車場の収益は、特定財源として駐車場内子どもが遊べる広場や遊具設置等、環境を整備し、駐車場利用者を長期的に増やすために使用すべきと考え

る。  
③ 駐車料金の徴収方法は、車番認識カメラ併用の料金回収システム（登録制）により自動でバーが開くを導入することにより、経費削減・防犯対応等がより良くなると考える。

**産業観光課長**

① 駐車場の維持管理費や施設整備に要する費用は増加傾向である。それに見合った料金の見直しの検討は必要だと考えており、周辺駐車場の状況などを調査し検討する。



海岸有料駐車場

② 駐車場整備に加えて、利用する様々な人たちが楽しめるよう整備を行い、魅力ある海岸づくりを進めていく。  
③ 現在の人的な警備業務を継続しながらも、今後、機械式システムの導入に向け、調査・分析を進める。





大橋 照雄 議員



# リアライズ問題の 発言の真偽は

## 答 誤りはない

**問** ① 「無償譲渡が否決なら、交付金の返還があります。」議会での発言は、議員への恫喝となるが、なぜ町長はこのような発言を議会ですることになったのか伺う。

② 町と内閣府は、直接のやり取りは原則できないが、町は「連絡を取りながら事業を進めている。」と発言している。ルールを破って行ったと解釈するが、それで良いか伺う。

③ リアライズに関する文書の開示請求をしたが、文書不存在の回答であった。文書不存在の回答に誤りはないか伺う。また、文書不存在は町民の財産管理を町が怠ったことになるが、見解を伺う。

**企画広報課長**

① 議員に対しての恫喝にはあたりません。

② 令和4年第1回定例会でお答えしたとおり虚偽ではない。

③ 文書不存在に誤りはない。また、財産管理を怠ったとは考えていない。

# 院内介助に費用の助成を

## 答 十分に調査を行い、検討したい

**問** ある高齢の方から「人工透析を週3回受けていて、病院内の移動に介助が必要で有料の支援を受けている。この費用は、1回5千円で月額では6万円以上にもなる。年金より高額となり生活苦となっている。」と悲

痛な声が寄せられた。

そこで、高齢者に対する院内介助に費用の助成が必要だと考えるが見解を伺う。

**福祉健康課長** 現行制度では、病院内は医療保険の範囲であり、院内介助は原則として、病院スタッフが行うべきものとされている。

そのため、現在は高齢者への院内介助に対する町独自の費用助成制度はない。

今後、財政負担や他の自治体の取り組み状況などを十分に調査したうえで検討したい。

# 公共施設整備順位の再検討を

## 答 中央公民館を第一に整備と判断

**問** 中央公民館より学校の給食室整備が先ではないかとの声もある。公共施設建設の補助金・交付金を検討して、公共施設整備順位の見直しが必要ではないかと考えるが町の見解を伺う。

り、更に空調設備が故障している部屋が多々ある。公共施設の整備計画に基づき、現状では中央公民館を第一に整備していくものと判断している。

また、公共施設整備の順位の見直しについては、財政状況の変化や各種補助金等の情報など必要性が生じた場合には、その都度見直しをしていく。



中央公民館

**総務課長** 給食室は老朽化による細かい不具合はあるが、その都度修繕で対応している。一方、中央公民館は一部で耐震に問題があ

※こんな質問もありました

- ・ 防災は行政の最重要施策
- ・ 中央公民館の改修に十分な検討を

## コミュニティ・スクール 導入の検討は

**答** 令和6年度には  
3校すべてに導入が完了

袴田 忍議員



**問** 文科省は、学校運営やそれに必要な支援に関する協議を行う機関として、コミュニティ・スクールの導入を示し、県・市町村に推進した。町はこれに伴って、町内3校に導入を検討したか伺う。

**教育課長** 町のコミュニティ・スクールの導入状況は、東浪見小学校は令和4年度に導入し、一宮小学校と一宮中学校は、令和6年度に導入予定である。

コミュニティ・スクールを通じて、保護者や地域住民等の意見を学校運営に反映させ、今後も地域とともに特色ある学校づくりを推進していく。

※コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）とは 学校に学校運営協議会を設置し、教育委員会から任命された保護者や地域住民、学識経験者などが学校運営に参画する仕組みのこと。

## 職員のフルネーム対策は

**答** 令和6年4月より改める

川城 茂樹議員



**問** 自治体の職員はフルネームの名札を付けることが当たり前のようになってきている。また、町ホームページにも幹部職員の「顔写真+氏名」が掲載されている。この組み合わせは、個人情報であり、明らかに個人情報保護法違反と思われる。

近年、このフルネーム情報を晒すだけで拡散してしまい、すべてを削除することは困難と言われている。このような問題に対応する手段として、名字だけにするとか、廃止するなどの対策を行う企業や自治体が増えている。

職員が安心して仕事を行える環境を創ることも町民サービスの向上に繋がることとであり、時代の変化に対応するためにも必ず対策を行うべきと考えるが、町長の見解を伺う。

**総務課長** 担当者を明確にすることで、住民の信頼を高め、安心感を与えらるるとも、職員一人ひとりが職務に対する責任を認識する

ことにつながるように、町では氏名をフルネームで記載している。

しかし、近年、名札に記載されている情報を基にSNSやインターネット上で、職員本人やその家族を特定した誹謗中傷や、ストーリーカー等の犯罪などに悪用されることが社会問題になりつつある。

職員が安心して業務を行えるように、令和6年4月から、ひらがな表記で名字のみを記載し、社会のグローバル化にあわせてローマ字表記を付した名札に改める。

**町長** 町ホームページにおける幹部職員の顔写真と氏名の掲載は、課長以上の幹部職員の最低限の紹介であり、役場の公的な情報と考えている。

今後の状況の変化なども見定め、姓だけの記載にするなど対応を考える。





宇佐美 信幸 議員



## 子どもたちに国際交流の場を

**答** より良い

### 国際交流事業を研究する

**問** コロナ禍前に実施されていたオーストラリアへの海外派遣研修事業が物価高騰や円安の影響により今年度も中止となった。代替手段として都内での研修が実施されたが、よりリアルな交流の機会を提供することで、子ども達の国際理解や外国語に対する興味・関心を強くすることができる。

そこで、海外の学校の教育旅行の一環として、町の学校の訪問やホームステイなど、児童・生徒同士の交流の場を設けることはできないか。

また、町全体の国際交流について、これまでの経緯と今後の展望について伺う。

**教育課長** 中学生の海外派遣研修事業は、令和2年度からコロナ禍や物価高騰の影響で中止となった。当町では代替事業として、都内で語学研修を実施している。海外の児童生徒の受け入れは、外国語への意識向上や、異文化や多様性への理解にも繋がり、非常に学び多き取組になると考える。

**企画広報課長** 平成29年8月から令和3年7月まで、グローバル化の進展及び情報発信の取組みとして、アメリカからの国際交流員を1名任用した。また、平成29・30年度に千葉県の国際交流事業として台湾の高校生及び商業職業学校の修学旅行生徒をホームステイにて受け入れた。

今後は、国際交流に関する意識高揚や姉妹都市等の新たな事業展開も含め、近隣市町村や先進自治体を参考に検討していく。



## 役場下道路の花壇の適正管理を

**答** 草刈りを増やし良好な状態を維持する

**問** 役場下から海岸へ通じる道路に花壇が設置されているが、草が伸び放題の状態であった。一部は道路側に草がせり出しており危険であるとともに、駅から海岸に通じるいわば町の顔となる道の花壇がこのような状態であることは町の品格にも関わるものと言わざるを得ない。

**都市環境課長**

① 当該道路は県道であり、管理は基本的には県となる。

② 県では年に一度草刈りを行っているが、道路交通に支障がある部分のみであり十分な管理にはなっていない。町でも令和5年4月に一度草刈りを行ったが手入れ不足は否めない。

今後は、町で年最低3回の草刈りを行い、良好な状態を維持する。また、花壇のあり方、活用方法について県と協議していく。



※草刈りを行い、見通しが良くなりました。

# マイナ保険証移行で 国の対応は

## 答 5年以内の資格確認証を発行

焔場 博敏 議員



**問** マイナンバーカードひも付けの保険証への移行でトラブルや懸念事項があったが、その後どう進捗しているか。トラブル件数はあったか。

住民は紙の保険証で何の不都合も感じていない。紙の保険証を残してほしいとの声が依然として強いが、国の対応にその後の変化はあるか伺う。

**住民課長** 町では健康保険証ひも付け誤りは確認されていない。

国は令和6年秋に健康保険証を廃止し、マイナ保険証を有しない者等は、本人の申請によらず保険者(町)が資格確認証を交付する方針である。有効期限も5年以内で各保険者が設定する。マイナンバーカードと健康保険証の一体化は、利便性や医療の質の向上、業務の効率化のため必要と考える。



## 校舎裏の雑草をきれいに

### 答 学校で除草作業を行う

**問** 東浪見小学校校舎裏側が雑草などで荒れている。フェンス外側の水路の土手は、地元農家組合が毎年草刈りを行い管理してきた。しかし、学校側からの草のつるや木の枝、フェンスに

とまった鳥のフンなどから桑の木が生え、先日土手の草刈りと防草シート張りの作業を行った。作業時に「フェンス内の管理もしっかりやってほしい」と要望の声があった。対応を伺う。

**教育課長** 校舎北側の管理では、隣接している水路の管理で農家組合の皆様に変迷惑をお掛けしている。植栽管理は、現在契約している業者に管理委託しており、予算の範囲内で対応する。雑草などについても学校で除草作業を行うなどして、近隣に迷惑の掛からないよう対応していく。

## 計画から住民参加で

### 答 住民参加の計画づくりを進めていく

**問** 町より公民館の大規模改修の議員説明会があったが、なぜか違和感が残った。先進事例をみても住民参加の中で、建設基本構想・基本計画がつくられ、その検討の中で出来るもの、出来ないもの、工夫するものを練り上げていく手法だ。

当町の建設基本構想・基本計画はあるのか示していただきたい。

**教育課長** 基本構想・基本計画は町民の意見を反映した形で策定するものと考えている。

議員説明会では町の計画案を説明したが、町民参加の検討委員会の設置を要望されたため、今準備を進めている。

検討委員会の議論の結果を最終報告書でまとめ提出を受けた中で、町が基本構想・基本計画の素案を作る流れになる。素案が完成したら再度報告する。



中央公民館





藤井 幸恵 議員



## 町の在宅育児支援を問う

### 答 保護者のニーズに添える支援を

**問** ① 国の施策である「幼児教育・保育の無償化」において、本町での満3歳児の対応は。

② 各こども園の幼稚部の申込み数の推移及び受入枠は適切か。

③ 在宅育児支援として、今後新しい取組みをしていく考えはあるか。

#### 子育て支援課長

① 保育所の無償化の対象は、満3歳になった翌年の4月1日から。町内のこども園の幼稚部も保育所と同様。幼稚園は、年度途中でも満3歳から入園可能で無償化の対象となる。町外の幼稚園に入園する児童には、国の基準に基づいて対応している。

② 現状、受入枠は適切と考えているが、保育者のニーズに添えるよう、こども園と連携して柔軟に対応していく。

③ 出前保育など現在の取組みの他、子育てサークル・子育て支援団体の方々と意見交換し、行政としてできるサポートを検討していく。

## 世界サーフィン保護区申請への取組みは

### 答 母体設立に向け関係者と協議

#### 問 最新のサーフィン関連ニュースやサーフィナルチャーを発信するメディア

「THE SURF NEWS」の2023年11月5日のコラムで、一宮町が世界サーフィン保護区申請への記載があった。

現在の状況とこれまでの経緯、今後はどのように進めていくのかを伺う。

#### 町長

子育ては個々の家族の自己責任ではなく、社会全体で取り組むべきである。実行可能で最も効果のある施策をニーズ調査の結果を踏まえて策定していく。



出前保育

#### 企画広報課長

世界サーフィン保護区は、現在世界で12ヶ所あり、アジアではまだ認定された地域はない。この認定を受ける事で、環境意識の向上、観光の促進、地域コミュニティの発展、各種サーフィン大会への誘致支援などが考えられ、町の総合戦略の中でも重点的に掲げている。昨年度より住民有志の方と協力しながら、町内のイベントにおいて、PR活動等の周知をしている。町の歴史・文化・自然・経済などに関わりのある各種団体のキーパーソンを集め、母体設立に取り組んでいく。

町長 町の海が世界レベルで認められ、大事に守っていくという住民の皆様の気運の醸成が大切である。それがある事によって、外から来た方も敬意をもって町の海を訪れてもらえる。サーフィンだけではなく

※世界サーフィン保護区とは国際的な非営利団体である「Save the waves」や「ISSA（国際サーフィン連盟）」などの協力を得て立ち上げた認定活動のこと。世界中の良い波やそのエリアと周辺環境、文化、経済や地域的要素を保護し、将来につなげることを目的に活動している。



様々な優れた魅力を守り増進していく推進力になると考える。

# 带状疱疹ワクチン接種補助を

小関 義明 議員



## 答 費用の助成を検討

**問** 近年、国内では带状疱疹の発症率が増加傾向にある。そのため、重症化リスクの高い50歳以上を対象としたワクチンの費用一部助成を近隣市町村ではすでに開始している。新しいワクチンは、2回接種が必要で、費用が高額なことから、家計への負担が大きく、接種するか悩んでいる住民は多い。

町では、今後ワクチン接種の補助を考えているのか伺う。

**福祉健康課長** 带状疱疹ワクチン接種の費用は全額自己負担となっている。新たに承認されたワクチンは、予防効果は高いが、2回接種が必要であり、1回につき2万円程度かかるため、当事者の費用負担は非常に大きくなっている。

そのため、国において、公費負担のある予防接種法上の「定期接種」とする方向で検討が進められている。一方で、国の検討結果を待つことなく、費用の助成を開始する自治体が増えてい

# 町長の政治姿勢について

## 答 未だ道半ば、3期目に挑戦

**問** 馬淵町長の任期も2期8年の終盤を迎えようとしている。2期目は、新型コロナウイルス感染症や2020東京オリンピックへの対応など記憶に残る4年であり、様々な苦労があったことと思う。しかしその一方で公約の実現が目に見えてこないと言つ声も聞かれる。そこで次のことを伺う。

① 2期8年にわたり積み重ねてきた政策と実績をどのように評価しているか。  
② 今までやり残したことがあれば、今後どのように対応していくのか。  
③ 3期目出馬の意思があるのなら、町の将来のあるべき姿と、それに向かって次の4年間をどのようにしようと考えているのか。

るため、町でも、費用の助成について、慎重に検討を進めているところである。

**町長**

① 就任以来、町の成長・発展に資する政策を行ってきた。郡市内最速でコロナワクチン接種の実施、駅東口開設、駅前観光施設、ステラ釣ヶ崎の開設など進めた。自己評価は80点であるが、実績を実感していただくには、道半ばである。

② 2期目の任期の終了に向けて、子育て・教育の充実、防災力の向上、農業と観光の振興、インフラ整備も更に継続してレベルアップを図ってゆく必要があると考える。

③ きたる5月の審判には、再度挑戦者として名乗りを上げさせて頂きたい。一宮町が「住み続けたい、住みたい」町として愛される町となるよう努力を傾注して参りたい。また、住民の自治体行政への積極的協働の形を加速させ、住民の帰属意識の強化に努めて行きたい。

あなたも議会を  
傍聴しませんか！

次回の定例議会は3月5日(火)  
午前9時からの予定です。

※傍聴も可能です。



録画中継



## 議会議員視察研修報告 【小安 博之 記】

新型コロナウイルス感染症により自粛していた議員視察研修を3年ぶりに11月に実施しました。

### 【秋田県大潟村】（干拓事業及びもみ殻バイオマス事業）

大潟村は、琵琶湖に次ぐ日本第二の広さを誇る「八郎潟」という湖を干拓し、日本農業のモデルを目指して、豊かで住みよい近代的な農村社会を作ることを中心に誕生しました。

また、環境省から「脱炭素先行地域」と選定されており、基幹産業である水田農業から生じるバイオマスを活用して循環型社会の形成に取組み、自然エネルギー100%の村づくりを目指しています。これは、稲作により排出されるもみ殻を燃料としたボイラーを設置し、ホテル、小中学校など村内施設へ熱導管により熱を供給するものです。

町においても稲作により多くのもみ殻が排出され、その一部は陸沢町と共同で運営されている上総有機センターで生産される農業用有機堆肥の原料として使用されています。もみ殻の利用方法の一つとして参考にしたいと考えます。



### 【秋田県能代市】（洋上風力発電事業）

現在、洋上風力発電に係る有望な区域として、千葉県では銚子市沖・九十九里沖及びいすみ市沖が位置づけられています。そのことから、全国初となる洋上風力発電所の商業運転が開始されている秋田県能代市を訪問しました。

能代市の日本海沿岸は年間を通して風が強く、飛砂や地吹雪に悩まされてきた歴史があり、市ではこの厄介な風を地域資源として捉えてエネルギーのまちづくりを進めています。視察した能代港では風力発電施設の設置工事が今も進められており、説明資料によると今後20年間累積3,800億円の経済効果を試算しています。今後も九十九里沖及びいすみ市沖の風力発電の動向を注視していきたいと思えます。



## 議長・議員が出席した主な行事（令和5年10月～12月）

10月		11月		28日	九十九里地域水道企業団 例月出納検査
3日	長生郡市議会 令和5年度第1回地区交流会	2日	九十九里地域水道企業団 定例監査・例月出納検査	12月	
5日	長生郡町村議会議長会 臨時会	3日	一宮町農林商工祭	4日	長生郡市負担金審議特別委員会
9日	陸沢町制40周年記念式典	4日	長生村70周年記念式典	6日	議会運営委員会
12日	第3回議会報編集委員会	4日	上総一宮児童作品展表彰式	6日	議会議員全体会議
14日	一宮小学校 秋季大運動会	7日	決算審査特別委員会（11/7～11/8）	6日	第1回議会報編集委員会
18日	東浪見小学校150周年記念講演会	9日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会	12日	第4回定例議会
20日	例月出納検査	17日	一宮小学校創立150周年記念集会	15日	第2回議会報編集委員会
23日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会	20日	例月出納検査	20日	例月出納検査
23日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	22日	千葉県町村議会議長会定例会	21日	九十九里地域水道企業団 例月出納検査
25日	議員説明会	22日	千葉県町村議会議長会議長・副議長研修会	27日	長生郡市議会役員会
26日	長生郡町村議会議長会 視察研修（10/26～10/27）	24日	長生郡市広域市町村圏組合議会運営委員会		
31日	視察研修（10/31～11/2）	24日	長生郡市広域市町村圏組合議会第3回定例会		



# 表紙紹介

1月7日（日）に、令和6年一宮町成人式～20歳の祝典～が開催されました。  
20歳おめでとうございます！



発行：一宮町議会  
編集：議会報編集委員会  
発行日：2024年2月7日  
〒299-4396 千葉県長生郡  
一宮町一宮2457  
電話 0475(42)1421(直)

2023年は「異次元の少子化対策に挑戦する」年始の岸田総理の発言からスタートしました。また、一宮町議会も新しいスタートから1年が経過しました。深刻な少子化は今に始まったことではありません。これから挑戦する少子化対策はより実行性が求められています。一宮町においても出生数は減少しており、2023年度は過去最低の予想です。他市町村から見ると、一宮町は近年人口も維持できており、良く見られておりますが、出生数から見ると将来は厳しい所があります。「緑と海と太陽のまち」子供を産み育てやすく・健康で心豊かに育ち・住み続けたいと思え・一宮町に戻ってきたと思え・楽しく長生きできる環境を整備していかなければなりません。地域が衰退することなく、まずは孟母三遷の教えの通り、町民の皆様と共に喜びが実感できる町を目指し、次代を担う子供たちのため2024年も議会運営に努めて参ります。

## 編集後記

篠瀬寛樹 記